

獣害対策指導者育成講座 「被害対策その1」

平成27年5月19日（火）に獣害対策指導者育成講座が開催され、松阪市内のは場にて多獣種防護柵「おじろ用心棒」を設置しました。

今回設置したおじろ用心棒は、延長約100m、資材費約10万円です。

おじろ用心棒を設置した農家の方は、以前、他のは場にておじろ用心棒を設置しており、その効果の高さを実感したため、今回の設置を決めたとのこと。設置したおじろ用心棒の資材については、農家の方が自費にて用意しました。

資材費の内訳としては、電牧器約5万円、ワイヤーメッシュ、支柱等の資材約5万円となります。



ワイヤーメッシュ



ソーラーパネル付き電牧器



こちらは、以前おじろ用心棒を設置した別のは場です。

おじろ用心棒の効果は大きく、ニホンザルによる被害は無くなったとのこと。です。



今回の講座にて、おじろ用心棒を設置したほ場です。
農家の方が自分で設置したトタンとネットがありました。今回はネットを撤去し、おじろ用心棒を設置しました。



まず、おじろ用心棒の設置方法について、説明を受けました。



講座の参加者でおじろ用心棒を設置しました。

まず防草シートをおじろ用心棒設置箇所には敷き、その上に鉄の支柱を打ち込んでいきます。打ち込んだ支柱にワイヤーメッシュを番線にて固定していきました。



設置完了後のは場です。

電圧を測定したところ、約7,000Vとなり、漏電もなく設置が完了しました。なお、推奨される電圧は5,000V以上です。

おじろ用心棒とは



おじろ用心棒は、通常のワイヤーメッシュ柵の上部に通電式の支柱を用いた電気柵を設置した防護柵です。電気柵の支柱に電気を通すことでニホンザルが支柱を掴んだ際に電気ショックを与え登れなくします。

おじろ用心棒の詳細については下記URLをご参照ください。
農業研究所 獣害対策資料

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/jyugai/taisaku.htm>

おじろ用心棒の設置について、ご興味のある方は
尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 地域農政課
0597-23-3498
までお問い合わせください。